

伊賀市議会 だより

2011. 5. 15

No.25



笑顔いっぱい 伊賀鉄道菜の花まつり（上林駅）

主な掲載内容

平成 23 年度新体制決まる	2～3
一般会計予算 428 億円	4～5
予算特別委員会・常任委員会の審査	6～7
議案審議結果	8～9
ここが聞きたい！ 15 議員が質問	10～15
議会活動報告	15
議会報告会	16

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

発行：伊賀市議会

編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ http://www.city.iga.lg.jp

決まる!!!

第4回臨時会を4月11日に開催。議長と副議長を選挙で選出し、議会選出の監査委員も決まりました。

また、各常任委員会の委員を選び、委員会の構成を決めました。

(◎は委員長 ○は副委員長)



渡久山カナエ 監査委員



安本 美栄子 議長



空森 栄幸 副議長

議長就任ごあいさつ

このたびの役員改選において議長職をお預かりすることになりました。市民の皆様には、これまで以上のご指導をよろしくお願い申し上げます。

私たち議会は改革の旗印を掲げ、「議会基本条例」を制定し、二元代表の一翼を担い、市民に最も身近で開かれた議会をめざしてまいりました。

地域の思いや願い、課題をうかがう機会として、住民自治協議会にお世話になりながら「議会報告会」を実施しておりますが、実施後4年が経過した今、報告会が位置付けられている「情報交換の場」「市民の市政、議会への参画の場」「議会の説明責任を果たす場」という役割が果たせているのか？見直しながら総力をあげてご期待にお応えできる議会づくりを努めてまいります。

ご指導のほどお願い申し上げます。

各委員会等紹介

議会運営委員会

議会運営等に関する調査を行い、議案、陳情等を審査

- ◎坂井 悟
- 中本 徳子 上田 宗久
- 中谷 一彦 北出 忠良
- 中岡 久徳 森永 勝二

予算常任委員会

予算及びこれに関する事項を所管

- ◎空森 栄幸
 - 前田 孝也
- 委員は議長を除く
議員25人

決算常任委員会

決算及びこれに関する事項を所管

- ◎空森 栄幸
 - 前田 孝也
- 委員は議長と監査委員を除く
議員24人

伊賀市・名張市広域行政事務組合議会

伊賀地区の振興整備に関する事項を所管

- 上田 宗久 田山 宏弥
- 北出 忠良 空森 栄幸
- 前田 孝也 中本 徳子
- 坂井 悟 安本美栄子

伊賀南部環境衛生組合議会

青山地域と名張市のごみ処理、し尿処理施設の管理運営を所管

- 森 正敏 松村 頼清
- 森岡 昭二 森永 勝二

三重県後期高齢者医療広域連合議会

三重県内の後期高齢者医療制度の運営に関する事項を所管

- 安本美栄子

H23年度新体制



(本城善昭) (岩田佐俊) (中井洸一) (西澤民郎) (奥 邦雄)
(百上真奈) (安本美栄子) ◎(前田孝也) ○(中谷一彦) (中盛 汀)

総務常任委員会

企画総務部、人権生活環境部、
総合危機管理室、出納室などの
所管に属する事項、その他の委
員会の所管に属さない事項



(生中正嗣) (稲森稔尚) (森 正敏) (桃井隆子)
(空森栄幸) (森永勝二) ◎(北出忠良) ○(近森正利) (馬場登代光)

教育民生常任委員会

健康福祉部、
上野総合市民病院、
教育委員会の所管に属する事項



(森岡昭二) (松村頼清) (中本徳子) (渡久山カナエ)
(今井由輝) ○(上田宗久) ◎(田山宏弥) (中岡久徳) (坂井 悟)

産業建設常任委員会

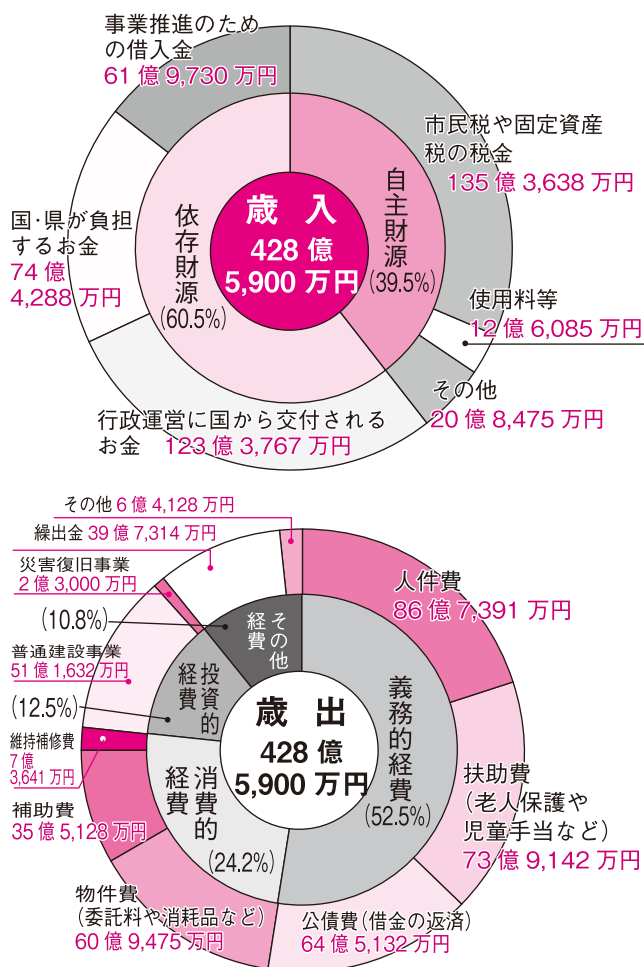
産業建設部、
中心市街地活性化推進室、
消防本部、水道部などの所管に
属する事項

予算 428億5,900万円

校区再編計画2校目 南中学校舎建設



一般会計歳入歳出予算の内訳



平成23年3月定例会は、2月28日から3月24日まで、25日間の会期で開かれました。

平成23年度の一般会計予算は428億5,900万円で、上野市駅前再開発ビル、新庁舎整備や上野南中学校の建設など大型建設事業推進のため、予算規模は前年度比5.4%増となりました。

「借金」に当たる市債は、前年度比21.6%増の61億9,000万円となりますが、厳しい財政状況のもと限られた予算の範囲内で、市民生活に必要な事業を実施しながら、予算規模がなるべく膨らまないよう、新規事業・継続事業を問わず徹底的に経費の見直しを行った予算編成となりました。

平成23年度一般会計

- 当初予算総額は？ **428億5,900万円**
- 今年度の市債(借金)は？ **61億9,000万円**
- 今年度の市債(借金)の償還額は？ **55億3,000万円**
- 平成23年度末の市債残高(借金)は？ **594億円**
(市民一人あたり約60万円)
- 平成23年度末基金残高(預金)は？ **107億円**
(市民一人あたり約11万円)

主な歳入(財源)

●市債(市の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れる借金

61億9,000万円

●地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

101億円

●市税

市民税や固定資産税等の税金

135億3,000万円

●負担金・使用料

市が行う事業に対する地元負担金や施設の使用料など

12億6,000万円

●繰入金

基金(市の貯金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金

8億9,000万円

●国・県支出金

国県が負担するお金

74億4,000万円

平成23年度一般会計



市民病院 治療設備の充実へ

主な歳出(使いみち)

●民生費

老人福祉、障害者福祉、保育所運営経費、医療費助成、生活保護費など

- ・福祉有償運送支援事業
400万円
- ・子ども手当事業
18億4,310万円
- ・依那古第2保育所・島ヶ原保育所耐震補強工事
3,452万円
- ・放課後児童クラブ新設事業
5,468万円
(旧ふたば幼稚園跡)

129億9,000万円

●公債費

(借入金の返済)

市が建設事業等のために借り入れた市債の償還に必要な経費

- ・市債元金償還金
55億3,439万円
- ・市債利子
9億1,291万円

64億5,000万円

●総務費

庁舎管理、自治振興、戸籍、徴税、選挙等に要する経費

- ・庁舎建設事業
4億3,845万円
- ・伊賀鉄道桑町駅前駐輪場整備
200万円
- ・滋賀県甲賀市と連携したご当地ナンバー(ミニバイクナンバープレート)
20万円
- ・住民自治協議会地域包括交付金
1億6,130万円

57億円

●教育費

小中学校、幼稚園の管理運営、文化財の保全、スポーツ振興経費

- ・上野南中学校の建設
14億9,124万円
- ・放課後子ども教室委託料
598万円
- ・スクールバス運行委託料
小学校 5,658万円
中学校 8,105万円

48億8,000万円

●衛生費

環境対策や清掃事業、健康推進などの経費

- ・予防接種助成費
子宮頸がん予防ワクチン
4,233万円
ヒブワクチン 4,565万円
小児用肺炎球菌ワクチン
4,936万円
- ・応急診療所管理運営費
8,113万円
- ・病院事業会計繰出金
4億872万円

46億円

●土木費

道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設費、都市計画事業費

- ・伊賀神戸駅前周辺整備
5,100万円
- ・都市公園施設補修工事(岩倉峡公園遊具改築など)
3,000万円
- ・しらすぎ運動公園整備事業
7,880万円
- ・住宅・建築物耐震改修事業補助金
408万円

36億9,000万円

●消防費

消防に関する経費

- ・消防救急無線デジタル化事業
1,055万円
- ・防火水槽新設工事費
2,500万円

14億8,000万円

●農林業費

農林業に関する経費

- ・国土調査事業
1,092万円
- ・鳥獣害防止事業
2,553万円
- ・耕作放棄地再活用対策事業
80万円

14億6,000万円

●商工費

商工業・観光等の振興経費

- ・コミュニティ情報プラザ補助金(駅前ビル3階の整備)
1億円
- ・中心市街地等商店街活性化事業(空き店舗活用)
556万円
- ・伊賀上野城築城400年記念事業
750万円

5億3,000万円

●労働費

労働に関する経費

- ・シルバー人材センター運営等経費
1,100万円
- ・ふるさと雇用再生特別交付金事業
8,503万円
- ・緊急雇用創出事業
2億4,882万円

4億2,000万円

●議会費

市議会の運営経費、

- ・議員報酬、議員共済組合負担金等
3億1,669万円
- ・行政視察、政務調査等経費
1,019万円

4億円

●災害復旧費

台風などの災害により、破損した道路等を復旧する経費

- ・公共土木施設災害復旧事業
1億円
- ・農林施設災害復旧事業
1億円

2億3,000万円

予算特別委員会

3月14日から16日までの3日間開催し、平成23年度各種会計予算及び平成22年度各種会計補正予算を審査しました。

審査の中で出された、主な要望や意見を紹介します。

総務費

●伊賀鉄道活性化のために、おもてなしの心で取り組みを。

民生費

●高齢者や障がい者の移動を支援する福祉有償運送の利用者が増えているが、経営が厳しい。車輛購入費等、市の助成の増額を。

●障がい者職場実習モデル事業で、3名が一般就労している。今後も多くの受け入

れを望む。

●母子家庭の就業率向上のため、相談窓口の充実と支援強化を。

労働費

●緊急雇用創出事業で、生活保護者の雇用推進を。

農林業費

●耕作放棄地再生利活用対策事業の積極的な啓発を。

土木費

●さくらのまち推進事業で、桜の街を積極的にアピールし観光利用を望む。



消防費

●密集した集落が多いので、防火水槽の整備促進を望む。

●消防団全てに、早く小型動力ポンプの積載車を配備されたい。

教育費

●上野南中学校建設の工事車輛の運行で生じる粉塵や運行の安全性について実態把握の実施を。

●児童生徒の登下校の安全に不審者対応で警察の協力も求めている。



常任委員会

各常任委員会では、第3回定例会で付託された議案26件、請願1件について審査を行いました。主なものは次のとおりです。

総務

議案 13件

伊賀市暴力団排除条例の制定

この条例は、暴力団排除を推進し、安全で安心して暮らすことができる社会の実現に役に立つよう定めるものです。

伊賀市から暴力団を排除していくため、基本理念を定め、市、市民及び事業者の役割を明らかにするとともに、暴力団排除に関する基本的施策、暴力団

排除に取り組む市民及び事業者を支援するための措置、青少年の健全な育成を図るための措置、暴力団員等に対する利益の供与の禁止など規定しています。

Q 伊賀市における暴力団の数、構成員、準構成員数及び犯罪に係わる事件の件数はどれくらいあるか。

A 暴力団数は3団体、暴力団に関する事件数は21年度6件、22年度は12件で、構成員、準構成員は把握していない。

Q 第6条に市の推進体制を規定しているが、どのような体制を考えているのか。

A 市、市民及び事業者、関係行政機関並びに関係団体が一体となって暴力団排除活動に取り組むための体制を整備する。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。(本会議において可決)

教育民生

議案 5件

第2次伊賀市地域福祉計画の策定

この計画は社会福祉法の規定に基づき策定するもので、総合計画の地域福祉分野を担う重要なものであり、すべての人が安心して暮らせるまちにするための方向性を示すものです。

策定にあたっては、公募委員を含む伊賀市地域福祉計画策定委員会での審議を重ね取りまとめた中間案について、昨年11月にパブリックコメントを実施、併せて市内6カ所でタウンミーティングを開催しました。

この答申を受け策定した「第2次伊賀市地域福祉計画」について議会の議決を求められたものです。
Q 市が直接関わっているモデル事業は。

A いきいきサロンを中心に介護予防教室、生きがい教室などがあり、国のモデル事業として矢持地区と上野西部地区が買入物支援、見守り支援を実施している。

Q さまざまな事業の担い手である民生委員・児童委員を中心に地域でネットワークや組織づくりを推進する考えは。

A 伊賀見守り支援員を養成し、多忙な民生委員・児童委員を手助けできる体制を作りたい。

Q 住民自治協議会が主体の地域ケアネットワーク会議を設置している3つの自治協会は。

A 上野東部地区、上野南部地区、矢持地区で、上野西部地区も立ち上げ予定。今後、介護高齢福祉課の地域福祉係が市民活動支援センターと連

携して継続的に推進の支援を行う。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。(本会議において可決)

産業建設

議案 8件

指定管理者の指定(青山ハーモニー・フォレスト)

青山ハーモニーフォレストについて「地縁法人 種生区」に指定管理の指定を行おうとするものです。

選定の理由は、現在施設の維持管理を種生区に業務委託しており、維持管理に係る技術を持った人材があり、施設利用者との交流に携わっていることから、地域の活性化及び地域振興を図るとい設置目的を達成しているため、指定は適正であるとしています。

Q パークゴルフ場の利用状況とPR方法は。

A オープンして3年が経過し、平成20年度1245人、21年度2973人、22年度1889人。PRは、長期使用できるポスターを製作中で、伊賀市パークゴルフ協会に何らかの大会等開催もお願いしていきたい。

Q 地元企業との連携を行う考えは。

A 指定管理にすることで、企業との連携は可能となる。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。(本会議において可決)



平成23年第1回臨時会 (1/19開催)



可決
左記の議案3件は
全会一致で可決

◆平成22年度一般会計補正予算について

国の「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」に伴い、地域活性化に役立つ事業を中心に補正(上野ふれあいプラザ空調設備及びトイレ改修、上野総合市民病院への線出金、上野運動公園競技場改修、府中小学校エレベーター設置事業など)

◆平成22年度病院事業会計補正予算について
一般会計の繰出金によるX線テレビシステム機器や外来科学療法室用機器購入経費。

◆工事請負契約の変更

上野市駅前再開発ビル建築のための工事について、工法の変更と障害物の撤去に伴う契約の変更。

平成23年第2回臨時会 (2/14開催)



否決
文化ホール3施設を
指定管理から市直営
にする設置条例改正
案を反対多数で否決

◆3施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(ふるさと会館いが、青山ホール、あやま文化ホール)

賛成 6人 反対 17人 欠席 4人

【討論】 反対
市民に説明をした上で
条例改正すべき(坂井)
・行革の趣旨はわかるが、
住民合意を得ていない(安本)

反対 馬場、桃井、松村、中谷、
坂井、空村、本城、
安本、中本、中盛、
奥、北出、中盛、
奥、森、生中、
稲森、

あき地の雑草等の除去に関する条例の一部改正を全会一致で可決



議員提案で「代執行規定」盛り込む

これまでの「あき地の雑草等の除去に関する条例」では、適切に管理されていないあき地の雑草等の除去を警告することしかできませんでしたが、議員提案でより強制力のある「代執行規定」を盛り込むこ

とを全会一致で可決しました。なお、3月22日の第4回臨時会で条例改正の施行を当初の「4月1日」から「10月1日」とする市長提案(専決処分)を賛成多数で承認しました。賛成 26人 反対 1人(稲森)

この議会では、平成 23 年度一般会計及び特別会計などの予算をはじめ、条例制定・改正のほか、地域福祉計画策定など合計 62 議案と議員提出の決議案など 5 件が提案され、総合計画後期基本計画の修正 1 件、決議案の否決 1 件を除いて全議案を可決・同意しました。

主な議案と審議結果

平成 23 年度 伊賀市 一般会計予算

可決
庁舎建設の予算執行を凍結する附帯決議
庁舎建設事業 4 億 3 8 4 5 万円

大型プロジェクトの一つである庁舎建設については、現在市民説明会を開催中であるが、説明会で出された意見として①交通渋滞緩和策、②観光客誘致、③駐車場問題、④中心市街地活性化基本計画との整合性、⑤経済効果のシミュレーション等に対する説明が不十分であり、これらの課題について、再度理解を得ることが最も重要であると考える。したがって行政は市民への説明責任を果たし理解を得られるまで庁舎建設事業費 4 億 3 8 4 5 万円の予算執行を凍結する決議を行う。

賛成
 ・市民の声を十分に聞いていない。時間をかけて説明をし、理解を得るまでの間、建設をするべきではない。(坂井)

反対
 ・庁舎建設は期限のある合併特例債を活用するため早く建てるべき。耐震性のある防災の拠点となる庁舎建設を望む。(生中)

否決
しらさぎ運動公園整備事業の
予算執行を凍結する附帯決議
用地取得費など 7 8 8 0 万円

しらさぎ運動公園(防災機能を含む)については、総事業費約 17 億円を投入する大型事業であるにもかかわらず、事業内容そのものが一部地域にしか知られず、全市民的な議論がなされていない。市民生活に直結した事業であることから、十分な市民への理解を得ることが必要不可欠であり、行政は市民の説明責任を果たすべく、各地区へ出向き、事業内容について十分説明され理解を得るべき。したがって、市民の合意が得られるまで予算執行を凍結する決議を行う。

可決
伊賀市総合計画
後期基本計画の
策定に対する修正

平成 23 年度一般会計予算の庁舎建設事業費が 5 項目にわたる課題について、その説明責任を果たすことを条件に一定期間、予算の執行を凍結する決議が可決されたことを受け、総合計画後期基本計画との整合をはかるため次のとおり修正を行う。

159 頁「今後は、平成 22 (2010) 年 7 月に策定された市庁舎基本構想・基本計画に基づき、市民に開かれた、誰もが使いやすい新庁舎の建設を進める必要があります。」

160 頁「新庁舎は、現在の場所で全面改築する。」
 (傍線部分を削除する)

反対
「市庁舎基本構想・基本計画」は関係機関が十分審議したもので議会として一定の理解を示した。削除することは、庁舎建設そのものを破棄することと理解するため反対する。(田山)

請願

採 択
 TPP (環太平洋経済連携協定) 交渉への不参加を求めることについて

◎請願者

伊賀北部農業協同組合
 代表理事組合長 北出富二

◎紹介議員

北出忠良 森永勝二 中谷一彦
 生中正嗣 本城善昭

◎趣旨

伊賀市においての農は主要産業であり、貿易拡大により受ける打撃は他産地に比べ影響が大である。わが国の食料安全保障と両立できない TPP 交渉への参加をしないよう国の関係機関に意見書を提出するよう求める。

◎採択に全員賛成
 意見書を市議会として国に提出しました。

森 正敏	北出 忠良	空森 栄幸	渡山 力一	前田 孝也	松村 頼清	奥 邦雄	中本 徳子	岩田 佐俊	坂井 悟	桃井 隆子	安本美栄子	中岡 久徳	馬場登代光	森岡 昭二	森永 勝二
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

【市長提案】

- 予 算**
- ◆平成 23 年度伊賀市一般会計予算……………賛成多数で可決
 (討論) 反対 ●川上ダムはやめるべき。庁舎建設より、市民ニーズは福祉、医療の充実にある。差し押さえありきの滞納整理はやめるべき。(森永)
 ●しらさぎ運動公園整備事業費を盛り込んだ予算に反対。事業費が大きいのに住民への説明がない。用地取得費も明確でない。(稲森)
 - ◆平成 23 年度伊賀市国民健康保険事業特別会計予算……………賛成多数で可決
 (討論) 反対 ●基金を崩して、保険料を下げるべき。一部負担金の減免を実施すべき。(森永)
 - ◆平成 23 年度伊賀市介護保険事業特別会計予算……………賛成多数で可決
 (討論) 反対 ●利用料が高い中で、サービスが受けられない人がいることは深刻な状況。(森永)
 賛成 ●介護高齢福祉課の過重労働を解消し介護ニーズに温かく向きあうために職員の増員を要望した上で予算には賛成する。(稲森)
 - ◆平成 23 年度伊賀市後期高齢者医療特別会計予算……………賛成多数で可決
 (討論) 反対 ●75 歳以上の高齢者を別枠にして差別医療を行っている。(森永)
 - ◆平成 23 年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計ほか 10 議案……………全員賛成で可決
- 補正予算**
- ◆平成 22 年度伊賀市一般会計補正予算ほか 15 議案……………全員賛成で可決
- 条 例**
- ◆伊賀市暴力団排除条例の制定についてほか 11 議案……………全員賛成で可決
- 契 約**
- ◆工事請負契約の締結について……………全員賛成で可決
 (市道岡田大沢線改良工事に伴う橋梁工事)
- 人事案件**
- ◆人権擁護委員候補者 5 名の推薦について……………全員賛成で可決
- その他議案**
- ◆第 2 次伊賀市行財政改革大綱の策定について……………賛成多数で可決
 (討論) 反対 ●補完性の原則を基本とした行政事務の見直しは、自治体責任の縮小と住民へ責任を押しつけるもの。民間参入や大型プロジェクトより税金のむだ使いをやめ、市が責任をもって行政サービスを充実させるべき。(百上)
 - ◆伊賀市総合計画後期基本計画の策定について……………修正部分を除く原案を賛成多数で可決
 (討論) 反対 ●市民にとっての優先課題は庁舎よりも医療、福祉の充実。同和事業の継続、川上ダムの推進、強引な自治組織の見直しを含む基本計画は市民の願いに応えるものではない。(百上)
 - ◆指定管理者の指定について 3 議案……………全員賛成で可決
 (ふるさと会館いが、あやま文化センター、青山ホール、伊賀市シルバーワークプラザ、青山ハーモニーフォレスト)
 - ◆第 2 次伊賀市地域福祉計画の策定についてほか 7 議案……………全員賛成で可決
 (計画策定 3 議案、市道ゆめが丘摺見線道路用地の取得、市道の認定・変更ほか)
- 請 願**
- ◆TPP (環太平洋経済連携協定) 交渉への不参加を求めることについて……………全員賛成で採択

- 【議員提案】**
- ◆平成 23 年度一般会計予算に対する附帯決議 (案) について
 - 庁舎建設の予算執行を凍結する決議……………賛成多数で可決
 - しらさぎ運動公園整備事業の予算執行を凍結する決議……………賛成少数で否決
 - ◆伊賀市総合計画後期基本計画の策定に対する修正 (案) について……………賛成多数で可決
 - ◆伊賀市あき地の雑草等の除去に関する条例の一部改正について……………全員賛成で可決
 (あき地の雑草等の除去義務について代執行を規定)
 - ◆TPP (環太平洋経済連携協定) 交渉への不参加を求める意見書……………全員賛成で可決

3月定例会賛否一覧 (賛否の分かれた議案について掲載)
 ○印は賛成、×印は反対 なお、今井由輝議長は採決には入っていません。

議案名	議員名	議決結果	賛成	反対	生田正嗣	稲森稔高	上田宗久	近藤正利	中井洸一	中谷一彦	中盛 汀	西澤 民郎	百上 稔	田山 宏弥	本城 善昭
平成 23 年度伊賀市一般会計予算		原案可決	23	4	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成 23 年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議(案) (庁舎建設事業の予算凍結)		可決	18	9	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	○
平成 23 年度伊賀市一般会計予算に対する附帯決議(案) (しらさぎ運動公園整備事業の予算凍結)		否決	7	20	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
平成 23 年度伊賀市国民健康保険事業特別会計予算		原案可決	25	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成 23 年度伊賀市介護保険事業特別会計予算		原案可決	25	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成 23 年度伊賀市後期高齢者医療特別会計予算		原案可決	25	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
第 2 次伊賀市行財政改革大綱の策定について		原案可決	25	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
伊賀市総合計画後期基本計画の策定に対する修正(案)		原案可決	18	9	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	○
伊賀市総合計画後期基本計画の策定について		修正部分を除く原案可決	25	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

ここが聞きたい

～市政を問う～

一般質問

3月7日、施政方針、予算編成方針及び教育行政方針について5人の議員が各会派の代表質問をしました。

一般質問は、3月9日から11日まで、10人の議員が市の諸問題について質問をしました。

代表質問



質問項目

- ・ 施政方針について
- ・ 教育行政方針について

代表質問

爽風クラブ 北出 忠良 議員

問

安心できる診療体制を

新院長のもと消化器疾患・がん総合診療など診療機能の強化について尋ねます。

答

さらに充実した治療に

23年1月から新院長を含め、外科医が3名増員となり6名体制となりました。また3月から麻酔科医も着任し、医師の総数も14名となり外科診療においても充実することになりました。4月には、がんサポート・免疫栄養療法センターを健診センターの4階に開設し、栄養サポート、化学療法など入院・外来患者のがん検診から精神ケア、緩和療法まで組織的に取り組めます。また、早期に放射線治療施設を整備し、がん治療を充実し自己完結型のがん診療総合センター化をめざします。先進医療を導入することにより特色ある病院として若手医師の確保にも繋げていきます。施設は、24年度に整備できるよう要望しています。

問

伊賀市としての健康・福祉の取り組みは

伊賀の医療体制の整備として、輪番制の維持や、救急車の適性呼びかけ、救急相談ダイヤル24の実施状況、がん検診、市民病院の今後や、健康づくりに対しての市の現状と今後はいかがですか。

答

今後も努力します

医師不足は今に始まったことではなく、全国的に厳しい状況です。市民にも市民病院の現状はご理解いただいていると思いますので、コンビニ受診ではなく、かかりつけ医を持たれるなど、対応をお願いします。救急相談ダイヤル24は、3月1日号の伊賀市広報にチラシを挟み込みましたので、ご活用ください。市民病院は、新院長を迎え、今後は外科のがん治療に取り組めます。健康づくりでは、それぞれの年代層にあった取り組みを計画し、展開します。



質問項目

- ・ 施政方針について
- ・ 教育行政方針について

代表質問

市民クラブ 中盛 汀 議員

代表質問

維新の会 安本 美栄子 議員

質問項目

- ・ 施政方針を問う

問

①自治基本条例と地域内分権についての方針は

答

条例には、市民、行政、議会それぞれの責務が整理されています。今後は、自治協ごとくに市の目標を理解し、自立した特色あるまちづくりを進めていただきたいと思えます。「補完の原則」に基づき市の責任として一括交付金を示しました。市の計画を策定する段階で知っていただくために広報等を利用してはいますが、市民周知が充分ではありません。同じ情報を共有することが大切なので色々と方法を検討しながら改善していきます。



答

430億円を超えない目標をたてています。合併恩典がなくなるときには下降しなければなりませんし、弱小の市だから交付税に頼らなければならぬのでその確保に努めます。民間借地について一定の整理が必要ですが、過去のしがらみで整理がつかなかったこともあり、今後は精査して公表し議論していきます。

問

②行財政改革についての財源確保の将来的展望は、財産の有効活用と借り上げ土地についての方針は

代表質問

新政クラブ 上田 宗久 議員

質問項目

- ・ 施政方針について
- ・ 予算編成方針について
- ・ 教育行政方針について

問

伊賀市を売り込む積極策は

少子高齢による人口減は、本市においても例外ではなく、合併後初めて10万人を割り込みました。若者などの地域定着には、子育て支援策や農工商連携による地域活性化策が重要な課題だと思えます。地産地消も大切なことだと思いますが、伊賀市には、他に誇れる歴史的な観光資源や物産などが多数あります。伊賀市を積極的に地域外に売り込む具休策について伺います。



答 観光や物産の情報発信に努めます

今年度から「伊賀市物産オフィス」を東京に設置し、従来の特産物に加え、菜種油などの販路開拓やPRに努めます。秋には伊賀上野城の築城400年記念事業として「高虎サミット」を開催し、これまで以上の交流人口の創出や観光客の増加に寄与する情報発信にも力を注ぎます。

代表質問

公明党 近森 正利 議員

質問項目

- ・ 上野総合市民病院の将来像
- ・ 伊賀市交通計画見直しについて
- ・ 一般会計について
- ・ 伊賀市キャリア教育について
- ・ 特別支援教育について

問

食物アレルギー児童生徒への対応

食物アレルギーにより引き起こされる症状として、皮膚粘膜症状（じんましん）、消化器症状（腹痛・おう吐）、呼吸器症状（呼吸困難）全身性症状アナフィラキシーショック（呼吸困難・呼吸停止）があります。文部科学省調査では、児童生徒の2.6%が対象です。2008年春から小中高校へ「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が配布されました。そこで、①実態の把握、②親との連携、③教職員の食物アレルギー児童生徒への対応マニュアルの作成、④アナフィラキシーショックへの対応、⑤学校給食の対応をどのように行っていますか。



答 小学校でも来年度から対応給食を準備

3点の条件を満たした児童生徒に対し、食物アレルギー個別対応給食を行っています。中学校において9名に実施、小学校においても、来年度へ向け18名の児童に除去対応給食を準備中です。

一般質問

本城 善昭議員



質問項目

- ・農業問題について
- ・少子化対策について
- ・下水道整備について
- ・第2次行財政改革の実施について

問 中山間地域における農業は

中山間地農業地域では、耕作するうえで不利であっても、国土・環境保全上においては多面的価値を有し、農政的にも保護されています。このような中山間地域に隣接する上野北部地域では、隣接地の島ヶ原、丸柱地区とほぼ同じ条件であるにもかかわらず、制度開始以来、対象外です。三重県の特認基準と農業センサスの旧町村単位の地域区分ではどうなりますか。

法的にも、県の特認基準でも、たとえ現時点で対象外であっても、県によれば、次の見直しまでに国に、地域変更の要望をすることは可能とのことなので、要望してくれませんか。

答 一般的な要望項目として要望します



一般質問

森岡 昭二議員



質問項目

- ・行財政改革について
- ・福祉計画について
- ・学校教育について
- ・環境問題について

問 財政は大丈夫か

平成26年度に合併の財政支援（合併特例債等）が終了するが、27年度以降の財政運営の見通しをどう考えているのか伺います。

答 プライマリーバランスをとり財政運営を進める

27年以降は一般会計で今より60億円少ない370億円程度の財政規模になり、10年間の合併特例債の活用でハード事業の整備が一定進んでいくが、普通建設事業費は大幅に縮小され、一方社会保障費は高齢化が進み、会計規模も膨らんでいくと予想しています。

歳入では生産年齢人口の減少により、個人市民税は減少していくと予測しています。今後も厳しい財政状況の中でプライマリーバランスをしっかりとりながら財政運営を行っていききたいと考えています。

一般質問

森 正敏議員



質問項目

- ・観光振興について
- ・公共交通施策について
- ・鳥獣害対策について
- ・高齢者の福祉対策について

問 観光客をお迎える環境整備を

観光は地域社会に活力を生み出す大きな力があります。伊賀市は歴史、文化、伝統それに豊かな自然と温泉など近隣都市に見られない数多くの観光資源を持っていますが、最近、入りこみ客が減少し続けています。交通アクセス、駐車場、公衆トイレや観光マップなど観光客のニーズにあった環境整備が必要ではないでしょうか。お尋ねします。

答 一つ一つ丁寧に行なっていきます

案内板などのちょっとした気付きでお客様に来ていただくことができます。いろいろな方策を考えています。たとえば、新しくできる駅前広場の駐車場を市内散策に活用していただくと思っています。また、民間駐車場の活用方も考えています。また、西大手駅にトイレをつくる計画をしています。伊賀市商工会の作成した観光マップも活用して誘客に努めます。

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

- ・住宅リフォーム助成で地元中小業者の仕事おこしを
- ・住み続けるための生活交通の確立を
- ・長田地区内の産業廃棄物処分場にきびしい監視を

問 住み続けるための交通は最重要課題



花垣、長田、三田、中瀬、神戸など旧上野の周辺部は、三重交通の撤退で公共交通の利用ができない地域を抱えています。交通計画の見直しには入っていません。買物や病院、中心市街地へ直接行けるバスの要望も多いです。公共交通は安心して住み続けるための生活基盤であり、交通空白地域や交通弱者をつくらないためにも最重要課題です。市が責任をもってバスを走らせるなど、全てのバス路線を含めて思いきった抜本的見直しをされますか。

答 地域の自主運行バスを支援して交通不便地区を解消

旧上野周辺部は比自岐地区のように、地域で走らせる自主運行バスを考えています。運行するまでの間、行政が入って相談にのり財政支援も行います。今回の計画は現在利用されている人が便利になるよう作りしました。抜本的な見直しは、交通事業者も含めた地域の合意形成が必要でです。

一般質問

渡久山 カナエ 議員

質問項目

- ・今後の公共施設のあり方
- ・保育所(園)の取り組み
- ・道路の進捗

問 連帯保証人を2名から1名へ



市営住宅の申し込み規定で、連帯保証人は2名となっております。しかし入居希望者の高齢化などに伴い、とても難しくなっています。ぜひ市民目線での条件緩和をするべきだと思いますが、保証人を2名から1名に変更される考えはありますか。

答 『特別の事情』で考慮

条例第9条に「市長は特別の事情があると認める者に対しては、連帯保証人を1人とすることを『できる』とあります。入居希望者の事情を充分聞かせていただいて、規定の中で判断をさせていただきます。



一般質問

森永 勝一 議員

質問項目

- ・高すぎる国保税
- ・自治組織のあり方について

問 国保の患者負担の減免



国保税をきっちり払っているのに窓口で負担金が増えるために受診せず死亡したと考えられるケースが増えています。しかし国民健康保険法第44条には、負担金を支払うことが困難であると認められるものに対し、①一部負担金を減額すること、②一部負担金の支払いを免除すること、③その徴収を猶予することとなっております。国は実施を進めています。伊賀市はどうして実施しないのですか。

答 そこまでふみきれない

三重県では4市が条例をつくり実施しています。厚生労働省から通知はきていますが、伊賀市ではそこまでふみきれません。県下で統一してやっていただいたらありがたいです。今後、後期高齢者医療制度と国保が一元化されるので、その時点では実施の必要があると思います。

一般質問

松村 頼清 議員



質問項目

- ・下水道事業について
- ・住民自治について

問 自治のしくみ

地域包括交付金は、来年度以降、今年度以外の補助金を交付金に組み入れるつもりがありませんか。また38ヶ所の市民センターが整備された中で、人件費や物件費の削減を執行するならば、支所の人員を市民センターに配置することで、支所の大きな維持管理経費の削減につながるとは思いますがいかがですか。

答 自治協の成熟が必要

当分の間、地域包括交付金は、前年度を下回らないという金額をお渡しさせていただきませんが、今後は、必要であるかどうか精査していきます。さらに要望があれば、地域で効果的に見える業務は地域にお願いすることもあります。将来的には、支所はなくなると言っています。それは自治協の成熟が必要だと思っておりますし、合併前に大きな支所小さな本庁といった説明責任があるので当分の間支所を置いて市民サービスをを行います。

一般質問

馬場 登代光 議員



質問項目

- ・観光のまちづくり等に
ついて

問 観光のまちづくりにどんなにぎわい創出のアイデアをお持ちですか

私は何回となしにコンクリートの建物を建てるだけではにぎわいのまちづくりはできないと申し上げてきました。にぎわいを取り戻すのは観光にたくさんの方が来ていただくことが大事だと思っています。各地へ行ってもう国際化巨大な観光市場があるのですから。この2月に富山県氷見市へ忍者ハットリくんの忍者列車を見に行ってきた。マンガでもまちおこしができます。伊賀鉄道沿線は竹やぶが多いですが、桜を植えて景観をよくすることを考えたらどうですか。森林公園に、中国のパンダを研究目的で県に借りてもらうとか、トイレを提供してくれる店にトイレの看板を掲げるだけでもまちおこしができると思いますが、こんな発想をもったことがあるか尋ねます。

答 このアイデアを参考にまちづくりに取り組んでいきます

取り組んでいきます

一般質問

岩田 佐俊 議員



質問項目

- ・高齢者の生活安全対策
について
- ・校区再編により生じる
廃校舎の今後の対策に
ついて

問 廃校舎の利用・処分の取り組みは

学校としての使命が終わった廃校舎の利用、処分について、今後の取り組みを尋ねます。

答 地域の皆様の意向を聞き有効利用をはかりたい

使命を終えた校舎や敷地の利用も含めた視点で事業推進を行います。施設管理には多額の経費がかかるため、財政状況が厳しい折でもあり、市が継続して維持することは難しいと考えます。

学校施設は災害時の指定避難所であることや、耐震力の状況、耐震国費補助金の財産処分手続等の関係があり、状況によりますが、地域の皆様の意向を充分聞き有効利用を図りたいと思います。

また解体処分となる校舎については、多額の費用が必要のため、処分日程は未定です。

廃校となった県立上野商業高校の施設利用についても、買収は困難であり、県からの無償譲渡で、県が運営ということであれば、市がいたきたいと思えます。

一般質問

稲森 稔尚 議員

質問項目

- ・ 誰にでもやさしい「ユニバーサルデザイン」のまちづくりについて
- ・ 自殺予防対策の強化について
- ・ 住民自治活動への支援と将来像について
- ・ 放課後子ども教室について

問 誰にでもやさしい「ユニバーサルデザイン」の理念を広げよう！

これまでの「バリアフリー」という考え方を超え、障がいのあるかないか、男性か女性か、若者が高齢者か、外国籍かどうか関係なく、誰にでもやさしい都市や生活環境をデザインする「ユニバーサルデザイン」という理念があります。これらの理念を広げるための条例制定や基本指針づくりへの考えを聞かせてください。また今後の伊賀市が観光で生き残っていくためにも「観光のユニバーサルデザイン」を進める必要があると考えますが、いかがですか。



答 市職員の意識向上をはかり 条例制定も検討します

現在は、市職員の意識向上のため、「ユニバーサルデザイン研修」に取り組んでいるところですが、そのことを踏まえ、条例制定も検討していきます。

また、誰もが訪れやすい「観光まちづくり」の重要性は十分認識しており、市民・NPO等の参画も得て「バリア」実態調査を進める必要があると考えます。

教育民生常任委員会の視察

2月1日から3日まで行政視察を行いました。中津市の中津市民病院は、全国各地で地域医療の存続が危惧される中、5年間以上黒字決算を保持し、地域医療の確保に大きく貢献していることから、自治体優良病院として総務大臣賞を受けています。

大牟田市は認知症の人とその家族を地域で支えるため、認知症ケアのアドバイスやケアマネジメントのできる人材の育成を行っています。

また、尾道市では、公立病院、民間病院、医師会が連携し医療提供が円滑に行われ、医療と介護、福祉との連携体制が整備されています。

伊賀市の今後の医療供給体制の確保に参考にしたいと考えています。

議会の活動報告



- (視察先)
- ▼福岡県中津市
 - ▼福岡県大牟田市
 - ▼広島県尾道市



東日本大震災 街頭で募金活動

市議会では、被災地に義援金を送ることを決め、個人で出し合つとともに、議員有志が市内の大型店の店頭立ち、募金を呼びかけました。3月末で集まった義援金は合わせて365,102円で、全国市議会議長会へ送り、日本赤十字社経由で被災地へ届けました。募金にご協力いただいた多くの市民の皆様ありがとうございました。



議会報告会

市民の皆様と議員が自由に情報や意見を交換する「議会報告会」を23年度も開催します。

昨年度までは、住民自治協議会単位で、7月、10月、1月に分けて開催していましたが、今年度は4月開催を加えました。既に上野東部地区が4月18日に開催しています。

7月は下記の日程で予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。



議会報告会日程 (7月分)

班	議員名(◎班長)	地区名	開催日	時間	場所
1	◎奥、生中、中盛、北出、中岡	丸柱	7月6日(水)	19:00～	丸柱地区市民センター
		神戸	7月30日(土)	19:00～	神戸地区市民センター
2	◎空森、稲森、西澤、中本、馬場	山田	7月12日(火)	19:00～	山田地区市民センター
		高尾	7月26日(火)	19:00～	高尾・岳の里会館
3	◎上田、百上、渡久山、岩田、森岡	古山	7月16日(土)	19:00～	古山地区市民センター
4	◎森永、近森、田山、前田、坂井	桐ヶ丘	7月21日(木)	19:00～	桐ヶ丘多目的集会所アミティ
5	◎本城、中井、松村、桃井	鞆田	7月9日(土)	19:00～	鞆田地区市民センター
		依那古	7月20日(水)	19:00～	依那古地区市民センター
6	◎森、中谷、今井、安本	比自岐	7月8日(金)	20:00～	比自岐地区市民センター
		玉滝	7月15日(金)	18:00～	玉滝地区市民センター

— 広報委員の紹介 —



近森正利 田山宏弥 稲森稔尚
百上真奈 ◎生中正嗣 ○中盛 汀
(◎委員長 ○副委員長)

平成23年6月定例会日程(予定)

6月2日(木)	本会議	(開 会)
9日(木)	本会議	(一般質問)
10日(金)	本会議	(一般質問)
13日(月)	本会議	(一般質問)
14日(火)	本会議	(一般質問)
16日(木)	予算常任委員会	
17日(金)	総務・教育民生・産業建設常任委員会	
20日(月)		
24日(金)	本会議	(閉 会)

※上記日程は、変更になる場合もあります。

議会を傍聴してみませんか!!

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴にお越しください。

●聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の3日前までに市議会事務局に申し出てください。(対象となる会議……一般質問)

●議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置も設置しております。

本会議等の模様は、午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)